

広報 つきがた

第 20 号

昭和46年 7月

発行

月 瀧 村 役 場

人口動態	6月30日	現在	6月中の異動
	世帯数 784	人口総数 3,874	出生 2 転入 6
	(男 1,870 女 2,004)		死亡 1 転出 10



豊かな村づくりを

55年への長期展望 村総合開発審議会発足

月瀧村総合開発審議会 第一回委員会が六月三十日午前十時から役場会議室で開かれまし
た。
当日は6月26日付で委嘱された十八人の委員のほか、村長、収入役など出席し会長、副会長を選任し正式に発足しました。
早速村長から、豊かな発展する村づくりを長期展望にたつて諮問があり審議会に入った。

この審議会で行われる長期総合計画は、最近における国民生活の著しい変化と向上、今後更に発展し変ぼうしてゆく社会経済の動向に適合した新しい村づくり、住民の福祉の増進と行政に対する要望も益々多様化、高度化し行政の果す役割が増大する中で今後の村行財政はどうあるべきかについて昭和五十五年を目標につくられるものです。

審議会は十年後の基本構想と五年間の長期計画とにわけ策定して村長に答申することになる。
この答申案にもとづき村議会の議決を経て実施計画がつくられ一つ一つの事業の実施段階に入ることになっていきます。

計画の内容は健康で豊かな村発展の基礎となる、土地利用計画を

- はじめ、道路整備計画、産業振興、教育文化、社会福祉、生活環境など村全般について将来の住民福祉と人間尊重を理念として、長期、総合的に計画がたてられ今後月瀧村の発展に大きな期待がよせられることでしょう。
- 審議会委員は広く村民の意志を政治に反映させるため村議会議員をはじめ一般住民代表、学識経験者、諸団团长から構成された。
- 委員は次のとおりです。

- 会長 神保 善二
- 副会長 五十嵐 勇夫
- 委員
- 細海 海蔵
- 五十嵐 勇夫
- 佐野 三郎
- 山田 由一郎
- 山田 清松
- 藤村 義一
- 間島 義衛
- 神保 善二
- 北 勇作
- 野内 敏政
- 曾山 弘
- 学識経験者 野内三代一
- 後藤 安衛
- 関根 伴一
- 平原 ミヨ
- 大関市太郎
- 角田 金豊
- 児玉 哲郎
- 諸団团长